

令和7年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(八基小学校)

平均正答率

1 自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
八基小	下回った	上回った	下回った	同等	上回った	同等
埼玉県	52.5	62.8	59.3	66.2	48.3	52.4

2 自校の学力レベルと県の学力レベル

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
八基小	4-A	7-C	6-C	4-A	5-B	6-B
埼玉県	5-B	6-B	7-C	4-A	5-B	6-C

3 自校の学力の伸びと県の学力の伸び

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
八基小		4	0		1	4
埼玉県		3	2		2	2

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	小4		小5		小6	
		八基小	埼玉県	八基小	埼玉県	八基小	埼玉県
深谷の子の誓い	・将来の夢や目標を持っている	95	90.6	95	88.5	94.5	83.9
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	70	78.6	75	77.0	83.5	77.4
	・自分からはっきり挨拶をすることができる	80	81.5	85	82.0	100	84.5
	・脱いだはき物のかかとをそろえることができる	50	77.8	85	80.7	88.9	87.4
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができる	80	85.5	90	86.9	94.5	89.4
	・勉強するときは、最初に計画を立ててから始める	50	54.2	45	49.2	38.9	51.6
	・休日などの学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している(塾等を含む)	65	52.8	50	54.0	61.2	53.9
学習等への関心	・授業で学んだことを、日常の生活に生かせると感じた	80	75.6	95	76.0	88.9	77.5
	・将来どの学校まで進みたいと思いますか【大学以上】	60	36.6	10	67.4	16.7	40.0
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	70	73.5	90	70.5	77.8	66.5
授業について	・授業を通して学んだ内容についてさらに詳しく知りたい、学びたいと思った	90	78.6	75	74.1	88.9	69.0
	・課題の解決に向けて、話し合ったり交流したりしたことで、自分の考えをもてるようになった	75	75.9	90	79.8	77.8	80.3
	・国語や算数の授業で、週1~2回程度以上タブレットを使っていた(2項目の平均として)	40	45.1	32.5	48.9	58.3	57.1
	・昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した	25	21.6	45	24.5	27.8	23.4
その他	・学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれた	100	94.2	100	94.8	100	94.8
	・学校の友達は自分のよいところを認めてくれた	70	85.3	95	90.0	88.9	92.4
	・学級での生活は楽しい	100	94.4	100	92.8	94.4	92.3

【質問紙分析】

- ・「将来の夢を持っている」「自分からはっきり挨拶をすることができる」等の質問に対して、肯定的にとらえている児童の割合が多かったことから、6つの誓いの「夢」「すすんであいさつ」に対しての意識が高まっているといえる。

伸びが見られた学級・教科での取組

【学級】

- ・定期的に図書室に本を借りに行き、読書タイムを設けるなど、日頃から読書活動を取り入れ、習慣化させていた。
- ・読書日記を書かせ、自分の考えを発信するような取り組みを継続して行っていた。
- ・歌詞の内容や意味を考えて、絵や色で表現し、イメージを広げさせ、理解を深めるような取組を授業で行った。さらに、そのイメージしたことを、実際に歌で表現できるよう、毎週タブレット端末も活用しながら、動画で提出させるような取り組みを行った。

【国語】

- ・新聞ワークシートやミニ新聞、日記など相手意識も持たせながら書く活動に取り組みせるようにした。
- ・国語だけでなく、様々な教科において、自分の考えをまとめる機会を意図的に設定したことで、子供たちの力を伸ばすことにつながったと考えられる。

【算数】

- ・個に合った問題や課題に挑戦できるよう、様々なプリントを用意し、取り組みせるようにした。
- ・学力PJの問題や学期ごとに行う算数検定等で、苦手な問題をそのままにせず、理解、定着を図れるまで、繰り返し取り組みせるようにした。

一人一人をより伸ばすための取組

- ・学力向上PJ教員が中心となって、授業改善の視点を示したり、教材教具の作成・準備、校内環境の整備等を進めたりしていく。
- ・伸びが見られた学級の取り組みを学校全体で共有し、取り入れていく。
- ・正答率が低く、課題が見られた問題等については、系統性も含めて分析し、その学年だけでなく、どの学年のどの単元が繋がっていくか全教職員で理解した上で、授業立案を進めていく。
- ・学習の成果を個人面談や懇談会、お便りや各種協議会等で知らせたり、相談する機会を設けたりしながら、学校・家庭・地域が一体となって力を伸ばせるようにする。